

小山紙業 株式会社

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間：2023 年 1 月～2023 年 12 月)

目 次

項 目	ページ
1. 組織の概要	1
2. 環境経営方針	2
3. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
4. 環境経営目標及びその実績	4
5. 環境経営計画及びその評価・次年度の計画	5
6. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無	6
7. 代表者による全体の評価と見直し・指示	6

発行日：2024 年 4 月 15 日

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者

小山紙業株式会社

代表取締役 小山雅子

(2) 所在地

東京都足立区宮城 1-23-24

(3) 環境管理責任者

片田泰輔

TEL : 03-3912-8511

(4) 事業内容

段ボールケースの製造

(5) 事業の規模

主要製品の生産量・出荷額、

1.59 億円／2023 年度

□ EA21 対象範囲

・登録組織名：小山紙業株式会社

・対象事業所：本社・工場：東京都足立区宮城 1-23-24

2. 環境経営方針

〈環境経営理念〉

- 1 循環資源を使用した商品梱包ケースである段ボールケースの普及に努め循環型社会づくりに貢献します。
- 2 段ボールケース製造の事業活動(以下「事業活動」という)を通じて省資源、省エネルギーに取り組めます。
- 3 事業活動を通じて発生する廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組めます。
- 4 当社に関連する環境関連法令などを守り、企業市民としての社会的責任を果たします。
- 5 環境経営マネジメントシステムの継続的改善と有効性を維持するために、目標を設定し定期的に見直します。

〈基本方針〉

1. 節電と省エネルギー化を進め、二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化防止に努めます。
2. 省資源による仕事を進めるように努め、廃棄物の発生量を低減します。
3. 節水に努め、排水量を低減します。
4. グリーン購入を推進することにより、環境に配慮した調達を進めます。
5. 環境に関連する法規制・条例等を遵守し、環境配慮に努めます。

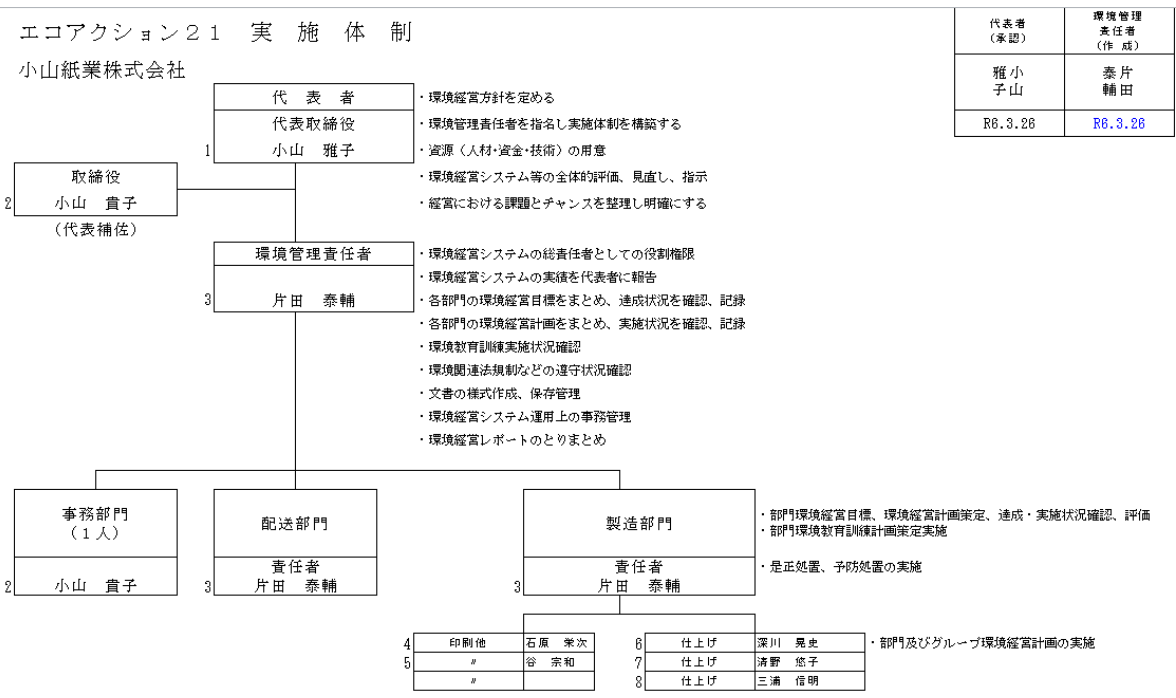
社内要所に環境経営方針を掲示し、全従業員にエコアクション 21 環境経営システムを徹底します。

制定日 2018 年 11 月 1 日

小山紙業株式会社

代表取締役 小山雅子

3. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表



4. 環境経営目標及びその実績

4-1. 環境経営目標

	基準年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
1. 二酸化炭素排出量削減						
・電気 (kWh)	25,488	△1%	△1%	△2%	△2%	△3%
・ガソリン (L)	2,197	△1%	△1%	△2%	△2%	△3%
・軽油 (L)	2,198	△1%	△1%	△2%	△2%	△3%
・CO ₂ 合計 (Kg-CO ₂)	22,364	△1%	△1%	△2%	△2%	△3%
2. 廃棄物排出量削減(kg)	17,154	△1%	△1%	△2%	△2%	△3%
3. 総排水量削減 (m ³)	61	0%	0%	0%	0%	0%
4. 段ボールの普及(m ³)	428,778	5%	5%	10%	10%	15%

※基準年度（2022 年）は、

二酸化炭素排出量削減 電気：2022 年1月～2022 年12月

ガソリン：2022 年1月～2022 年12月

軽油：2022 年1月～2022 年12月

廃棄物排出量削減 2022 年1月～2022 年12月

総排水量削減 2022 年1月～2022 年12月

段ボールの普及 2022 年1月～2022 年12月

※CO₂ 排出係数は、東京電力エナジーパートナー(株)の調整後排出係数0.474kg-CO₂/kWh を使用した。

4-2. 12 ヶ月運用結果（2022 年1月～2022 年12月）

目標/実績

	基準年度 (2022 年)	目標	12 ヶ月実績	目標達成状況
1. 二酸化炭素排出量削減				
・電気 (kWh)	25,488	△1% 25,233	24,266	104% ○
・ガソリン (L)	2,197	△1% 2,175	2,032	107% ○
・軽油 (L)	2,198	△1% 2,176	2,068	105% ○
・CO ₂ 合計 (Kg-CO ₂)	22,364	△1% 22,140	21,640	102% ○
2. 廃棄物排出量削減(kg)	17,154	△1% 16,982	15,014	113% ○
3. 総排水量削減 (m ³)	61	0% 61	60	102% ○
4. 段ボールの普及(m ³)	428,778	5% 450,217	379,973	84% ×

○100%以上 △85%～99% ×84%以下

5. 環境経営計画及びその評価・次年度の計画

環境経営計画	取組結果と評価、	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減 (電気) ① 生産工程の待機時間 ② 前処理の合理化	・ 休憩時間に消灯を実施した ・ 仕上げ工程を仕上げ方法別に午前と午後に分ける事で設備の稼働時間を限定した	継続して実施する。
二酸化炭素排出量削減 (ガソリン) ① 効率的なルートで配送 ② アイドリングストップ ③ 急加速・急停車の防止 ④ 冷房の控え目使用	・ 前日に翌日の配送ルートを計画している ・ トラックをガソリン車からディーゼル車に変更した(アイドリングストップ機能付)	継続して実施する。
廃棄物排出量削減 ① 分別の徹底 ② 製造過程の不良品を減らす ③ 新デザインものは特に注意 ④ 不動態在庫をなるべくもたない	・ 不動態在庫化している製品を整理した。 ・ 新設備を導入し不動態在庫化しない体制を整えた	継続して実施する。
総排水量の削減 ① 節水シールの添付	・ 節水の意識付けをした	継続して実施する。
段ボールの普及 ① 段ボール材料仕入先に再生紙段ボールかの確認 ② 営業促進 ③ 新デザインものの製造には注意を払う ④ 外注生産品の社内生産化の検討	・ 外注生産品の内製化を進めている ・ 新製品の提案をしている	販路の拡大 新規顧客の確保

6. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無

当社が遵守しなければならない環境関連法規として、廃棄物処理法、消防法、騒音規制法、振動規制法及びそれらに関連する都火災予防条例、足立区条例等があります。

当社では、これらの法規制遵守のために、法規制の一覧表を作成し、定期的に遵守状況をチェックすることにより、違反のないことを自主的に確認しました。

なお、これらの法規制に対する関係当局からの違反の指摘、及び関連する訴訟は過去3年間ありませんでした。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクション21の活動を通じて節水、節電を始め製造ロスの低減や在庫の持ち方の検討が日常的に行われるようになってきていると感じています。

今回目標未達成となっている項目の主要因は受注の減少が起因と捉えております。社内生産体制の強化と販売ルート拡大の為、新設備を導入致しましたが受注減少をカバーするまでには至りませんでした。その為、自社生産に拘らず販路を拡大し、顧客のニーズに伝えていく体制の構築にも着手しております。これは一定の成果を生んでいるので引き続き社内生産量の拡大にも取り組んで参ります。